



編集後記 From Editor

大阪市中央区にある、あいね・谷町九丁目店。10年以上前の開店以来、フェアトレード&エコロジーの考え方に共感した多くの顧客が訪れる

東日本大震災の後に迎えた昨年の桜の季節、岩手県のある酒蔵が「東北のお酒を買ってぜひ花見に行つて欲しい」とインターネットの動画で訴えて反響を呼んだことが今も心に残っている。悲しみに沈む人が大勢いる時に、浮かれた気分にはなれないのは当然のこと。当時、花見はもちろんさまざまな面で自粛のムードは全国に広がった。しかしそれは、めぐりめぐつて被災地の経済に、もう一度打撃を与えることになる。

そう考えると、何が正しいのかがわからなくなつて、「正しさ」の次元の違いに戸惑つてしまう。同時に、改めて感じたのは、消費というものには休みがないということ。経済社会は、消費なしではひとときも回っていかない。

大抵のモノやサービスは倫理性と非倫理性を併せ持つている。だから「倫理的消費」という言葉に対しては多少偽善的なところを感じる人がいるのも理解できる。これまで大量生産・大量消費の恩恵を私たちは十二分に受けてきた。その結果、周囲はどこから来たのかわからない品々で溢れている。

だからこそ、何かを買う時には、これまでよりもっと意識的でありたいと多くの人が考え始め、今「倫理的消費」は世界的な潮流にもなっている。

とはいえ、要らないものは買う必要がない。だから多分、良いものを長く使うことも、倫理的な消費のひとつだろう。そんな素晴らしい品物をつくつた人たちに感謝する。そうした人や企業が、存在価値を十分に発揮できる社会であつてほしい。

フェアトレードでも、「公正な貿易」というように、その本来の価値への公正な対価を支払うことが本質だろう。同時にこう思う。ある品物の良さをちゃんと認めて購入するという行動は、お金だけではない何らかのメッセージを、その販売から流通、そして生産に携わる人たちに届けることにはならないだろうか。

年末の時期、デパートのお歳暮コーナーに行くとき、たくさん東北の物産が目についた。どうせなら被災地のものをと多くの人は考えているし、供給する側も、今はそうしたニーズに十分応えることが重要だと理解し努力している。同じようなかたちで、消費者の側と供給する側の相互の良い効果によって、やがてはすべての商品がより倫理性の高いものになればと夢想する。これからの倫理的な消費は、なによりも社会における人と人とのつながりを強め、世の中により多くの希望と喜びをもたらすものであつてほしい。

——京 雅也

表紙写真 宮城県石巻市小網倉浜に浮かぶ「大漁プロジェクト」の活けわしのいけす。東日本大震災で大きな被害を受けたが、地域の人が助け合い漁業の復興に向けて立ち上がるようとしている。2011年12月開催の神戸ルミナリエ会場の一角では、東日本大震災の復興支援として東北地方の物産などが販売され、連日多くの人々が訪れた。裏表紙写真 発展途上国の子どもに給食を提供する活動「TABLE FOR TWO」のヘルシーメニュー（写真提供：東京ガス株）／生産者と消費者をつなぐ「マルシェ・ジャパン」の一環として大阪・中之島で開催されている「大阪マルシェ」／パンの缶詰を食糧支援に活用する「救済鳥プロジェクト」に寄せられた応援メッセージ付きの缶詰

CEL 98号 特集 ■ 倫理的消費—持続可能な社会へのアクション 発行●平成24年 1月1日 頒価1,000円（送料別途）

■発行 大阪ガス(株) エネルギー・文化研究所 (CEL)
〒541-0046 大阪市中央区平野町4-1-2

■発行人 木全吉彦 *Yoshibiko Kimata*

■編集人 京 雅也 *Masaya Kyo* / 弘本由香里 *Yukari Hiromoto*

編集●関西ビジネスインフォメーション(株)内 CEL編集室
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18

住友中之島ビル7F TEL.06-4803-2212

印刷・製本●日本写真印刷株式会社

RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURE, ENERGY AND LIFE © 2012 OSAKA GAS CO., LTD.

禁無断転載複写

※本誌掲載の寄稿文、インタビュー、レポートなどの内容は必ずしも大阪ガスの見解を表すものではありません。本誌・バックナンバーのコンテンツやエネルギー・文化研究所(CEL)の活動内容はインターネットホームページ[<http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/cel/>]でご覧いただけます。

本誌に関するお問い合わせ、ならびにご購読申し込みや送付先変更等のご連絡は CEL編集室 Tel.06-4803-2212 Fax.06-4803-2210 cel@kbinfo.co.jp まで